

2010年6月17日

No.109

# 又市征治 国政だより

又市征治事務所

発行責任者 東 篤

富山市下新町 8-16

TEL 076-441-0800

HP: [www.s-mataichi.com](http://www.s-mataichi.com)

## 174 通常国会が閉会

### < 具体的成果を上げた三党政策合意 >

174 通常国会は、鳩山連立政権が三党の政権政策の合意に基づく予算や法案を決定する初めての通常国会であり、社民党は福島内閣府特命大臣、辻元国交省副大臣を先頭に、国民生活再建に全力を挙げました。

この間、社民党は、民主、国新両党と協力しながら、新たに255万人の非正規労働者への雇用保険の拡大、地方交付税の1.1兆円の増額、子ども手当の創設、高校授業料の実質無償化等々や、労働者派遣法改正案、民営化によって破壊されたユニバーサルサービス再建に向けた郵政改革法案の国会提出を実現しました。

### < 政治不信を高めた鳩山旧政権 >

しかし、当初こそ高い支持率だった鳩山内閣でしたが、鳩山総理と小沢幹事長（いづれも当時）の政治とカネをめぐる疑惑、党と内閣との間での政策決定過程での不明朗さ、さらに沖縄の普天間移設をめぐる総理や関係大臣の迷走、ついには福島大臣を罷免してまでの辺野古における新基地建設決定によって、支持率は10%台まで下落し、ついには立ち往生しました。目前の参議院選への影響をおそれた鳩山前総理は、小沢前幹事長とともに辞職し、新たに菅内閣が誕生し、民主党も新体制となりました。

### < 危うい菅政権の姿勢 >

菅総理は所信表明演説で、「強い経済と、強い財政と、強い社会保障の実現」を表明しました。このスローガン自体が誤りとは言えませんが、主要閣僚による歳出の削減、消費税率をめぐる議論のオープン化、法人税率引き下げによる企業競争力の強化論などが声高に主張されると、自公政権下での新自由主義者の発言と二重写しになり、大きな危惧の念を抱かざるを得ません。

民主党は、首相辞任で国会を一週間も空転させた上に、所信表明演説、代表質問終了後の予算委員会開催を、一部閣僚の事務所費問題の追及を逃れるために一方的に反古にしました。菅内閣の下での民主党の国会運営は、自公政権時に勝るとも劣らないほど強権的です。まさに「政権の品質保証役」の社民党がいかにか大きな役割を果たしていたかを示しています。

最終日、衆議院で内閣不信任案、参議院で総理問責決議案が提案されましたが、民主党の国会運営や今後の政策展開には問題があるが、菅総理が去年の「三党政策合意の遵守」を本会議で表明したことや、発足から1週間ということ等を踏まえ、社民党はこれに賛成しませんでした。

### < 社民党の議席倍増をめざして >

通常国会が閉会し、6月24日公示、7月11日投票という参議院選の日程が確定しました。社民党は、「党の力量・議席不足で政権の暴走を止められなかった」という厳しい反省の上に、全党一丸となって議席倍増をめざし、全力を挙げます。一層のご支援ご協力を重ねてお願いいたします。